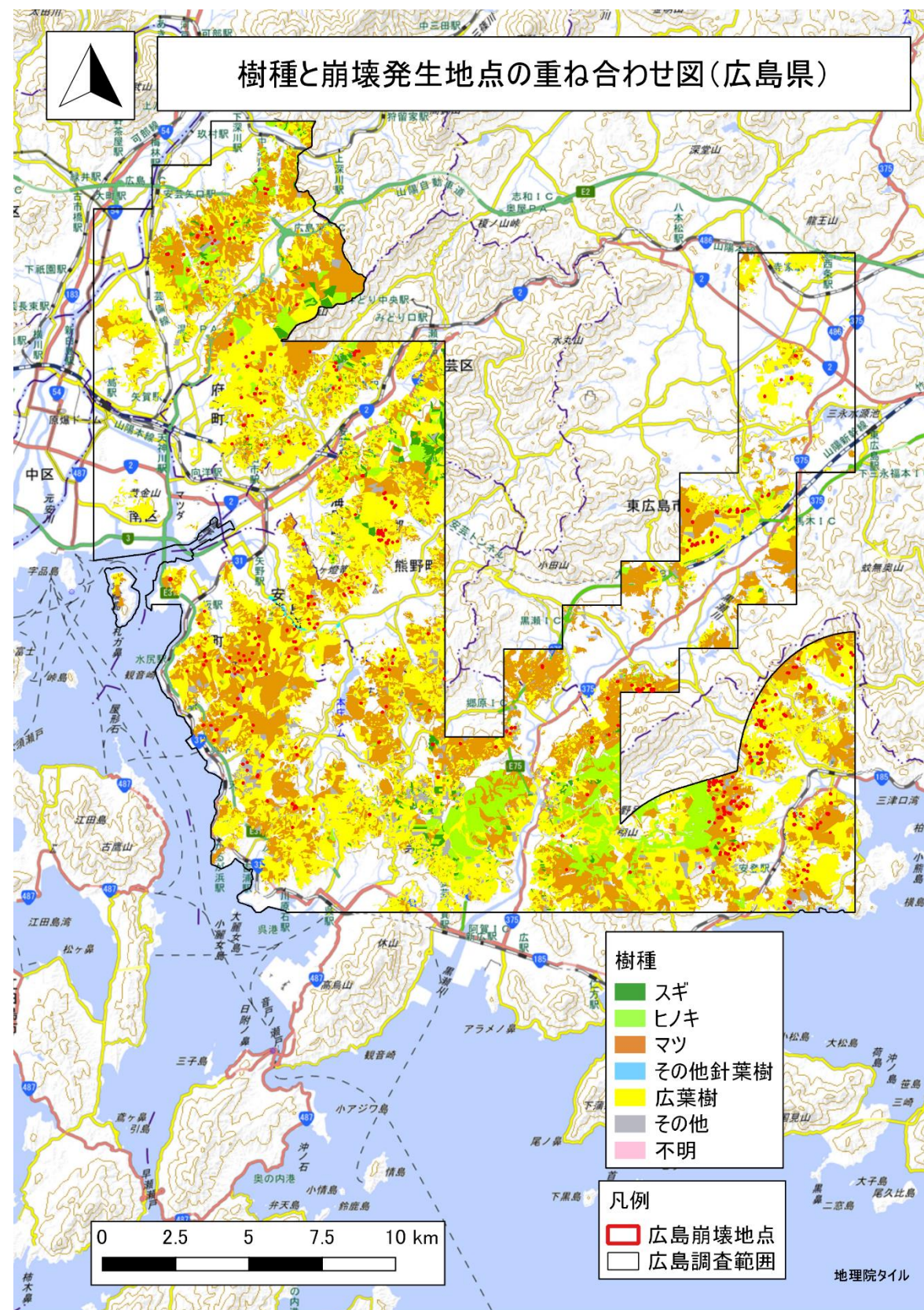
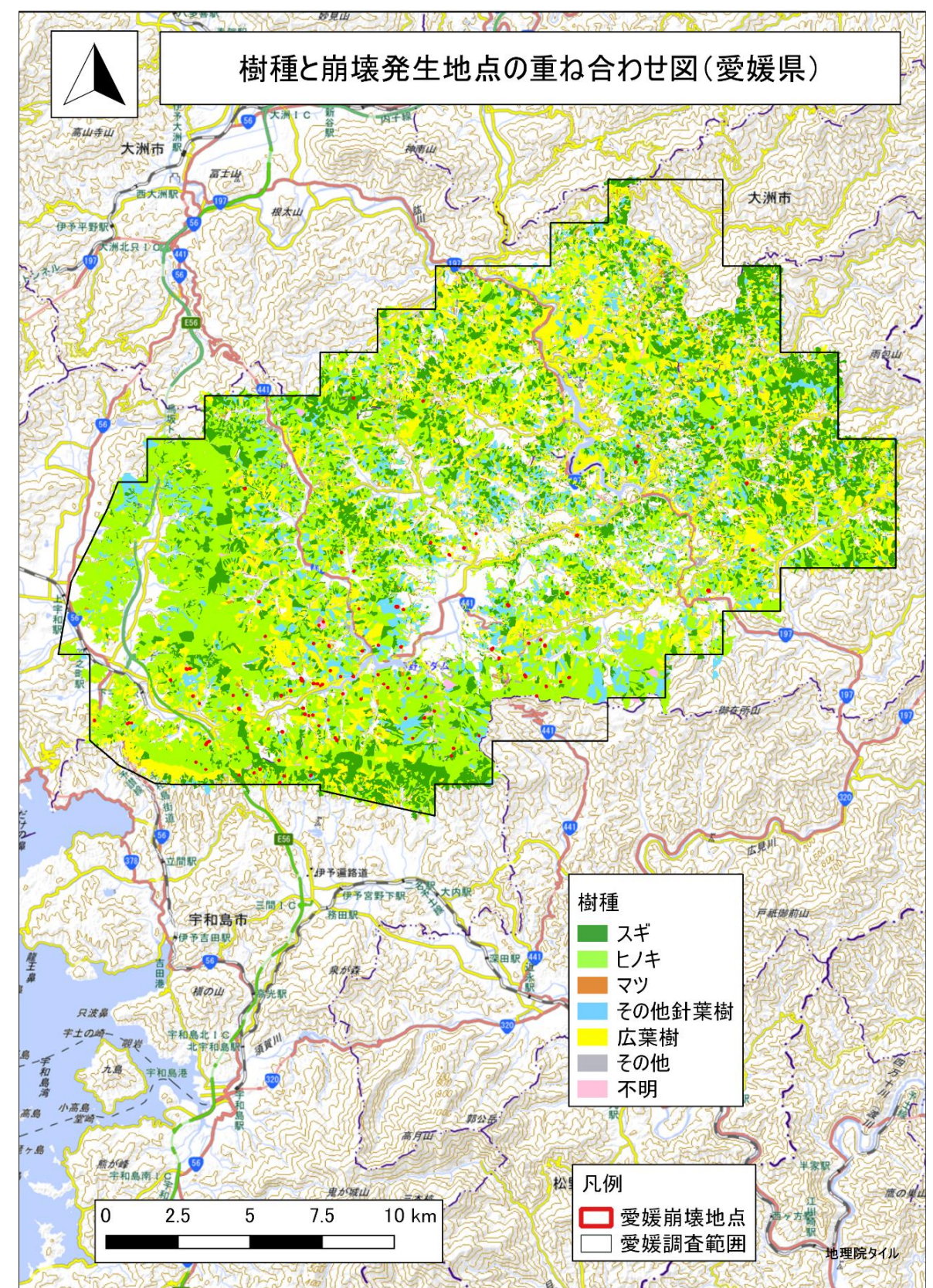




注：樹種区分は森林簿による



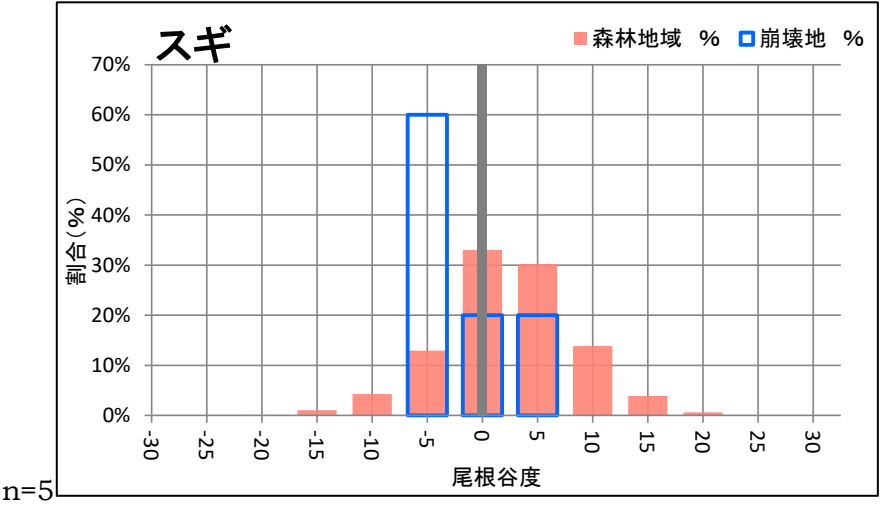
注：樹種区分は森林簿による

図 3.13 樹種と崩壊発生地点の重ね合わせ図

(1) 広島県

谷：尾根（全体）＝27：73
↓
谷：尾根（崩壊範囲）＝75：25

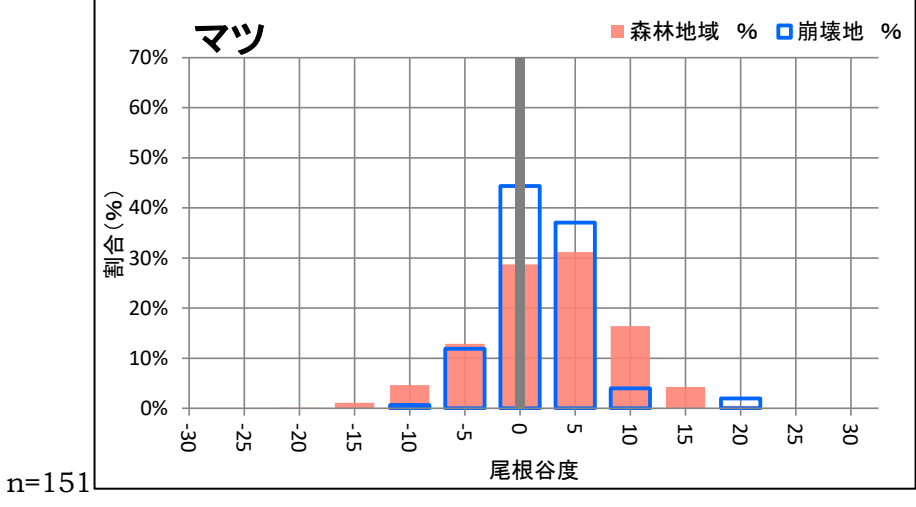
○尾根谷度：
・尾根部（凸地形）＝プラス
・平坦部
・谷部（凹地形）＝マイナス



解析メッシュサイズ：10m×10m

谷：尾根（全体）＝26：74
↓
谷：尾根（崩壊範囲）＝23：77

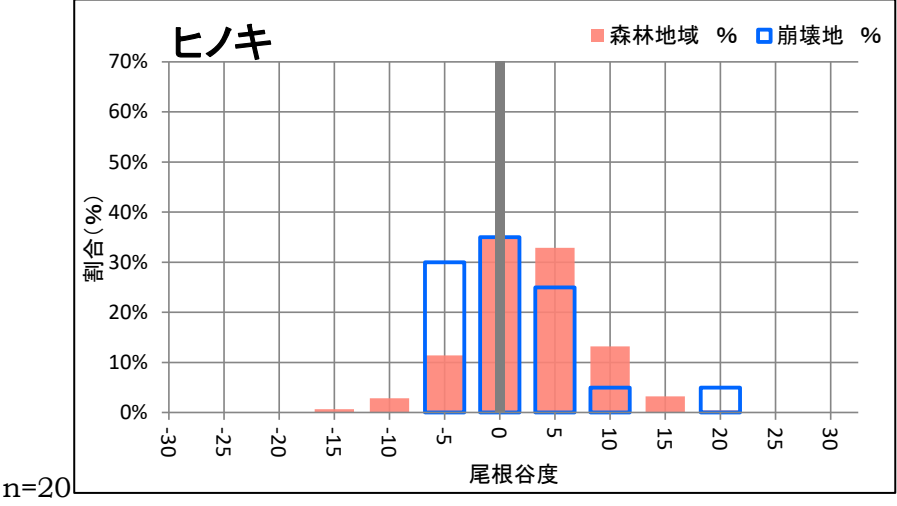
○尾根谷度：
・尾根部（凸地形）＝プラス
・平坦部
・谷部（凹地形）＝マイナス



解析メッシュサイズ：10m×10m

谷：尾根（全体）＝23：77
↓
谷：尾根（崩壊範囲）＝46：54

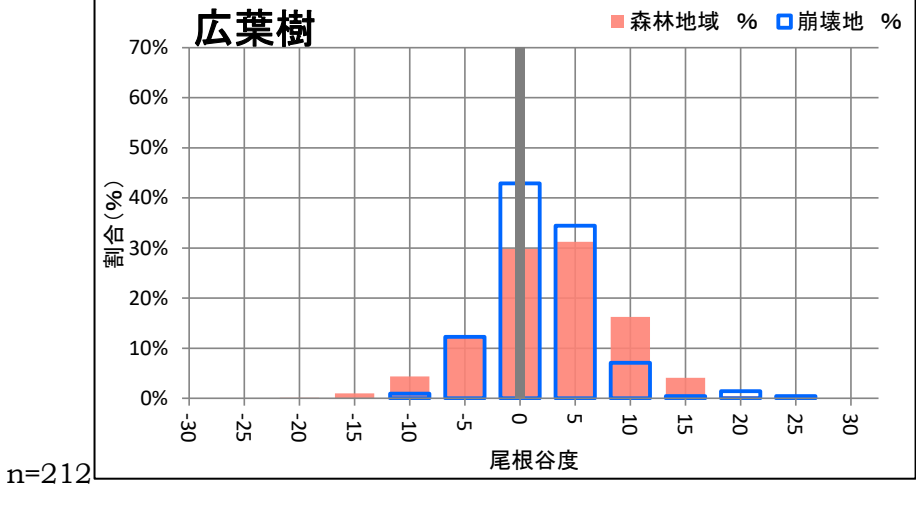
○尾根谷度：
・尾根部（凸地形）＝プラス
・平坦部
・谷部（凹地形）＝マイナス



解析メッシュサイズ：10m×10m

谷：尾根（全体）＝26：74
↓
谷：尾根（崩壊範囲）＝23：77

○尾根谷度：
・尾根部（凸地形）＝プラス
・平坦部
・谷部（凹地形）＝マイナス



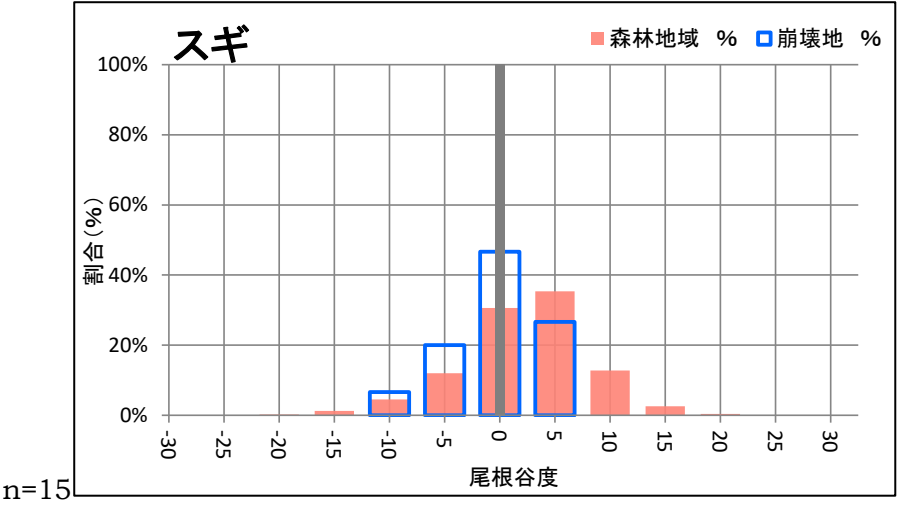
解析メッシュサイズ：10m×10m

図 3.14 尾根谷度別・樹種別の単位面積当たり崩壊発生箇所数（グラフ・広島県）

(2) 愛媛県

谷：尾根（全体）＝26：74
↓
谷：尾根（崩壊範囲）＝50：50

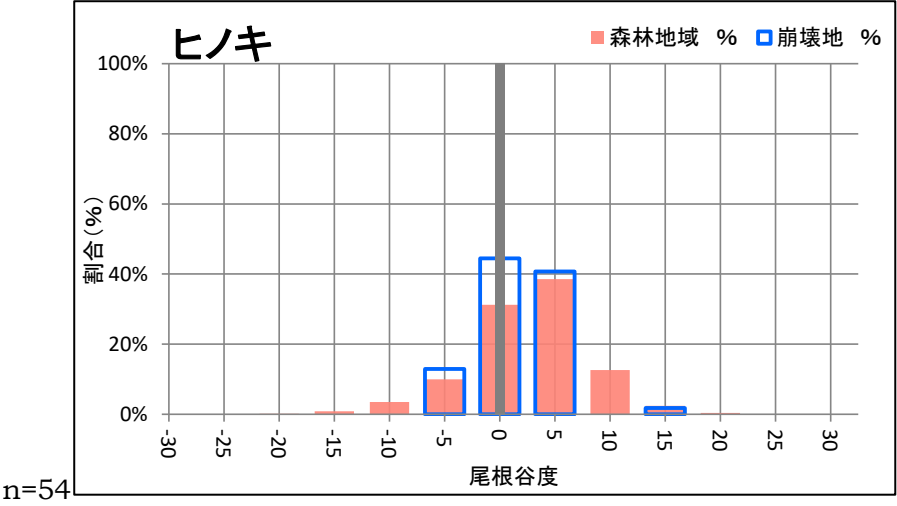
○尾根谷度：
・尾根部（凸地形）＝プラス
・平坦部
・谷部（凹地形）＝マイナス



解析メッシュサイズ：10m×10m

谷：尾根（全体）＝21：79
↓
谷：尾根（崩壊範囲）＝23：77

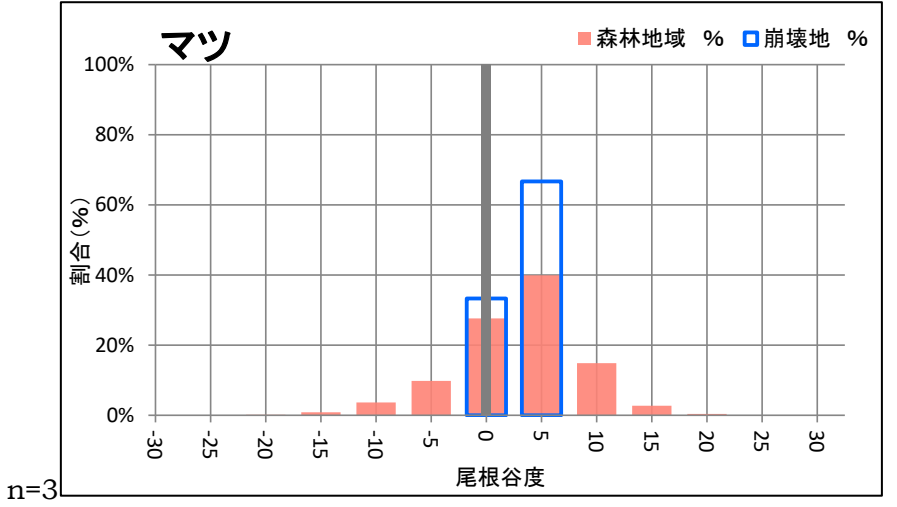
○尾根谷度：
・尾根部（凸地形）＝プラス
・平坦部
・谷部（凹地形）＝マイナス



解析メッシュサイズ：10m×10m

谷：尾根（全体）＝20：80
↓
谷：尾根（崩壊範囲）＝0：100

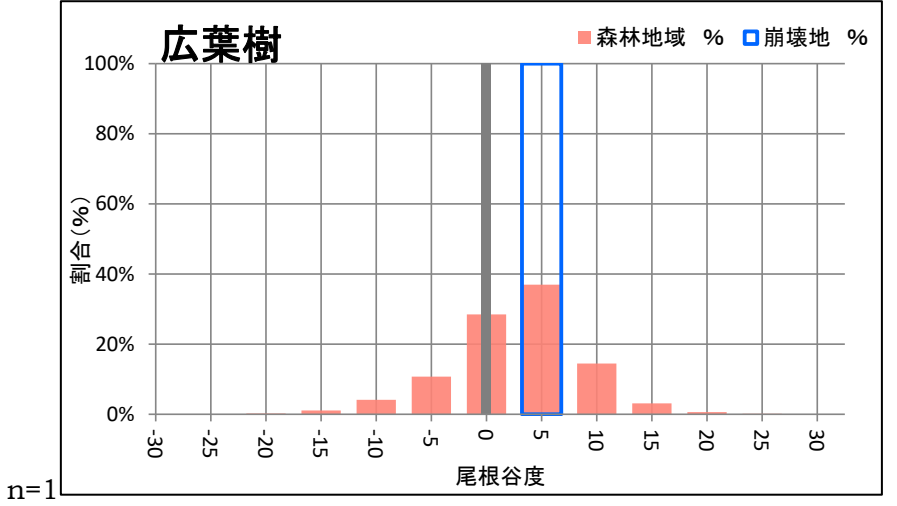
○尾根谷度：
・尾根部（凸地形）＝プラス
・平坦部
・谷部（凹地形）＝マイナス



解析メッシュサイズ：10m×10m

谷：尾根（全体）＝23：77
↓
谷：尾根（崩壊範囲）＝0：100

○尾根谷度：
・尾根部（凸地形）＝プラス
・平坦部
・谷部（凹地形）＝マイナス



解析メッシュサイズ：10m×10m

図 3.15 尾根谷度別・樹種別の単位面積当たり崩壊発生箇所数（グラフ・愛媛県）